

多様性や多文化共生への理解促進に向けた、市内関係団体へのヒアリングについて

団体名	活動内容（HP、団体規約等を参考）	ヒアリング方法	ヒアリング結果		
			外国人の方と関わる機会	ご協力いただける場合、その内容	その他
あきる野市国際化推進青年の会 （主にマールボロウ市との国際交流事業に参加した経験のある学生・社会人からなる団体） 代表者：来住野 実咲さん	<ul style="list-style-type: none"> 市の国際交流事業への協力 青少年の国際交流活動の企画、運営 市の国際化推進施策の充実を図るための調査、研究の実施 国際交流に関する情報発信 	WEBアンケート	なし	外国人の方へヒアリングを行う際の通訳	
あきる野ホストファミリークラブ （マールボロウ市友好訪問団受入事業でホストファミリーとしての経験を持つ方々からなる団体） 代表者：岸 由紀子さん	<ul style="list-style-type: none"> 市の交流事業参加者への支援 上記青年の会への協力、支援 マールボロウ市情報の収集及び地域への発信 	WEBアンケート	なし	会の目的外のため、会としては協力ができないが、会員に協力を呼びかけることはできる。	
あきる野国際友好クラブ （市やその他の国際交流事業への参加経験を持つ方々等からなる団体） 代表者：峯岸 美幸さん	<ul style="list-style-type: none"> 市の国際交流事業への協力 国際交流イベントの実施 	対面	なし	相談があった際に検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 在住外国人へのコンタクトについては、外国人を雇っている企業に当たってみてはどうか。 ゴミの出し方など、地域で生活する上でのマナーを教える機会が必要ではないか。 マールボロウ市との交流事業のように、対象を中学生に限定するのではなく、広く一般市民を対象にしたイベントもあると良いのではないか。 市には、移住を希望する外国人の方に向けた相談窓口はあるのか。 →（市）翻訳機を備えた「外国人相談窓口」を設置しており、相談内容によって各部署へ対応を引き継いでいる。令和5年度「移住・定住」に特化した相談窓口も開設予定（令和5年4月開設済）であるが、「外国人」対応の想定がなく、今後検討が必要である。
あきる野市日本語サークル （社会福祉協議会ボランティア団体の登録団体） 代表者：前田 由美子さん	<ul style="list-style-type: none"> 在日外国人に日本語を教える。日本語のみならず生活習慣、子どもの学校等できるだけ相談に応じ協力する。 	対面	あり	外国人の方の紹介	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の方は、日本語が分からない分、顔をよく見ている。対応に苦慮している際、顔に出る職員が多い。英語が分からなくても、聞き取れる単語をつなぎ合わせれば、大まかな内容は理解できる。会話に自信のない職員であっても、単語だけでも聞き取って、英語を話せる職員にお願いするなど、できる限りの対応をしてほしい。 市において、市内在住の外国人の方の状況を把握する必要があると思う。
おもてなし語学ボランティアあきる野連絡会 NORAVONA（「外国人おもてなし語学ボランティア」に登録されている市民の方々等からなる団体） 会長：中村 利久さん	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵五日市駅前での観光案内 四季折々の企画ガイドツアー（ホテル観賞会や秋川渓谷紅葉ウォーキングツアー、武蔵五日市七福神巡りなど）の実施 	対面	あり	外国人の方の紹介	<ul style="list-style-type: none"> 電話での相談について、ハードルが高いと感じる外国人は多いと思う。チャットやラインで相談できるようになれば、今より気軽に相談できるのではないか。 外国人の方のための相談窓口が必要ではないか。 団体で実施しているツアーの参加案内チラシなどを、公民館や市の施設に置いてもらえないか。 →（市）今後、企画政策課に依頼いただければ対応する。